

# 商工労働企業委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 平成30年7月24日（火）～7月26日（木）

## ◆調査先・調査内容

### ①愛知県議会（愛知県名古屋市中区）

調査内容：次世代ロボット産業の振興、産業人材の育成について

製造業が盛んな愛知県では、産業用ロボットを中心にロボット製造業の製造品出荷額等が全国1位である。県では、今後の成長が見込まれるロボット産業の育成・集積を目指し、メーカーと利用者のマッチング等の場の提供、研究開発プロジェクト、補助金による資金的援助、情報発信などの幅広い施策に取り組んでいる。

また、副知事をリーダーとした産業人材育成・確保促進プロジェクトチームを設置して産業人材の育成に横断的に取り組んでおり、職業訓練やキャリア教育等の人材育成情報を一元化した「産業人材育成ポータルサイト」、熟練技能者を登録し、派遣、実技指導を行う「あいち技能伝承バンク」の運営や、公共職業訓練施設の再編、コース新設による機能強化などを行っている。

<主な質疑等>

- ・ドローンの実証プロジェクトについて
- ・ものづくり産業への外国人の受入れについて



### ②三島スカイウォーク（株式会社フジコー）（静岡県三島市笹原新田）

調査内容：地域の景観を活用した観光開発・地域活性化の取組について

三島市の株式会社フジコーは、富士山や駿河湾等の景観を活用して観光客を呼び込み、地域活性化に貢献したいと日本一の吊橋の建設を計画し、平成27年12月に「三島スカイウォーク」を開業した。計画や設計・施工のみならず、地元自治体等との協議、環境等の各種調査、技術評価委員会での審議などを民間企業主体で実施しており、吊橋の全長は400メートルと、本県の「九重”夢”大吊橋」を抜いて日本一となっている。

開業後2年半で約370万人が来場し、伊豆地域の観光交流客数は増加した。地元商店街を紹介するポスター展など、地域と連携したイベントも行っている。

常に新しいものを提供できるように、新たなアクティビティを設置するなど、民間企業ならではの積極的な事業展開を行っている。

<主な質疑等>

- ・吊り橋建設の目的、事業の進め方について
- ・来場客の構成について



### ③矢崎総業株式会社（静岡県裾野市御宿）

調査内容：Y-CITY、企業のグローバル化等について

矢崎総業株式会社は自動車のワイヤーハーネスなどで知られているが、自動車メーカーが海外進出に伴い国内工場を縮小する中、「社会から必要とされる企業」という社是のもと、地域での雇用が継続できるよう、環境に優しいことや地域社会との連携などを基本理念とし、介護事業や環境・リサイクル事業、農業・食品事業等の新規事業を展開している。

また、世界各国に拠点を展開し、多分野で活動する同社は情報共有を重視しており、ヘッドクォーターを置いている「Y-CITY」には、図書室、ホール、会議室、展示などがあり、様々な形での情報のやり取りが行われている。図書室などは一般にも開放されている。

<主な質疑等>

- ・工場閉鎖等に伴う配置転換及び新規事業における従業員の教育について
- ・新規事業の担い手不足への対応について
- ・海外法人の従業員の研修について



### ④株式会社DACホールディングス（東京都台東区東上野）

調査内容：企業におけるダイバーシティの推進について

広告事業などを行うDACグループは、女性が活躍する企業でなければ成長できない時代が来るという確信のもと、1980年代から女性活躍推進に取り組んできた。女性の積極採用、女性社員の研修、交流や結婚・育児との両立のための制度拡充などに取り組んできた結果、現在は女性社員比率は全体の半数を超え、課長以上の女性比率も3割以上となっている。

また、2012年から海外視察を積極的に行った結果、現在は男性社員も含めたダイバーシティの推進に取り組んでおり、テレワークなどの新しい働き方や、障がい者の活用も進めている。ダイバーシティ推進のための部署を設けており、スローガンは「世界でいちばん働きたい会社をつくろう」である。

<主な質疑等>

- ・テレワーク及び男性社員の育児休業の状況について
- ・精神障がい者である社員の業務内容について
- ・地方創生事業について

